

○当日の主な流れ

- ・大脇委員長により、議事が進行された。
- ・港湾の主な4つの機能（①物流・産業、②環境・エネルギー、③人流・賑わい、④安全・安心）ごとに第1回委員会や利用者等から頂いた意見や課題を踏まえ、長期構想の策定方針や取組内容を議論

日時：令和6年10月28日（月）14時～16時

場所：ホテル テラス ザ ガーデン 水戸

議事次第

1. 開会
2. 港湾管理者挨拶
3. 委員長挨拶
4. 議事
 - 1) 資料説明
 - 2) 質疑応答
5. その他議事
6. 閉会

※委員・オブザーバー：25名中、19名出席（WEB・代理含む）



○第2回委員会での主な意見

物流・産業

- ・労働力不足が懸念されることから、新しい技術等により効率性の向上を図ってほしい。
- ・更なる港湾利用を促進するため、港湾を利用する企業の新規立地を受け止める産業用地の確保に取り組んでいくことが大切である。

環境・エネルギー

- ・「茨城港港湾脱炭素化推進計画」にも示されている、脱炭素化に資する取組が推進されるよう、関係機関と連携して取り組むことが大切である。
- ・情報収集に努め、次世代エネルギー等の受入等に対応できるような体制の準備をお願いしたい。

人流・賑わい

- ・クルーズ船の寄港は増加傾向にあり、クルーズ船寄港の際に発生する貨物船との利用調整が改善されるよう、茨城港全体として、ハード・ソフト両面からクルーズ船の受入環境の充実化を図ってほしい。
- ・クルーズ船の利用者にとって港湾地区が通過点とならないよう、港湾地区の環境整備に力を入れる必要がある。
- ・将来的なクルーズ船の大型化を見込むと、対応できる岸壁が必要となる。既存施設を上手に活用して、新しい機能を付加するなどの取り組みを入れても良いのではないか。

安全・安心

- ・港湾の発展に伴い増加する船舶について、航行安全対策を十分に検討いただきたい。
- ・計画的な維持管理を進めてほしい。
- ・気候変動を考慮した対応をお願いしたい。

